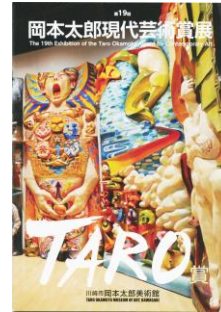


企画展

「第 19 回 岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」展

会 期	2016 年 2 月 3 日 (水)～2016 年 4 月 10 日 (日)
開催日数	58 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館 岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 600 (480) 円、高・大学生・65 歳以上 400 (320) 円、 中学生以下 無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	13,071 名
1 日平均	約 248 名
図 録	リーフレット A5 無料配布
ポスター	B2
チ ラ シ	長形ハガキサイズ
出品点数	23 点
担 当 者	木下紗耶子、片岡香



リーフレット



チラシ



展示風景

【開催趣旨】

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。

今年で19回目を迎える本賞では485点の応募があり、創造性あふれる23名(組)の作家が入選をはたしました。また最終審査を経て、太郎賞1名、敏子賞1名、特別賞1名が決定。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧ください。

【受賞者】

岡本太郎賞： 三宅感 《青空があるでしょう》

岡本敏子賞： 折原智江 《ミス煎餅》

特 別 賞： 笹岡由梨子 《Atem》



三宅感
《青空があるでしょう》

【関連記事・TV・ラジオ放送】

- ・【【地域】 TARO 賞に三宅さん】 神奈川新聞 2016 年 2 月 4 日
- ・【【岡本太郎現代芸術賞 最高賞】 三宅感さん「青空があるでしょう」】 産経新聞 2016 年 2 月 4 日
- ・【【アートクルーズ】 みなぎる「可能性」新たな創造者たち「第 19 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展】

SANKEI EXPRESS 2016 年 2 月 8 日

- ・【【神奈川】 岡本太郎現代芸術賞「最高賞」産経新聞(神奈川) 2016 年 2 月 4 日
- ・【【岡本太郎現代芸術賞】最高賞に三宅感さん「青空があるでしょう」】 産経ニュース

【関連事業】

■出品作家によるギャラリートーク

日程・作家：

2月21日(日) 横山奈美、六無、花沢忍、本郷芳哉、三宅感、川久保ジョイ

3月6日(日) 楷の会 林楷人、森本孝、折原智江、関川耕嗣

3月27日(日) 坪井康宏、二藤建人、村上佳苗、三角瞳

4月10日(日) TEAM WARERA、原田武、松下敦子、笹岡由梨子、村上慧

場 所：企画展示室

時 間：各日とも14:00～

参加人数：各回とも約50名

■お気に入りの作品を選ぼう！

展示されている23点のTARO賞作品の中から、来館者にお気に入りの作品を選ぶイベント。受付でもらったカードに付いている赤いシールを、企画展出口にある投票ボードにシールを貼って投票しました。

日 時：2016年2月3日(水)～3月21日(月祝)

場 所：企画展示室、ギャラリースペース

投票結果：1位 《青空があるでしょう》 三宅 感

2位 《Atem》 笹岡由梨子

3位 《Viewpoint of God》 井田大介

4位 《vacant》 三角瞳

5位 《景》 原田武

■手紙プロジェクト「言葉でつながろう！」

来館者が、第19回TARO賞展の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙にして発信しました。書くことによって展示作品や展覧会を身近に感じることができ、ギャラリーへの掲示やファイリングを通して、来館者、作家が共有しました。作家からかえってきた返信もあわせて紹介しました。

日 時：2016年2月3日(水)～4月10日(日)

場 所：ギャラリースペース

■楷の会 林楷人パフォーマンス「デモクリトス 断片 B117」

絵画を基軸とする総合芸術の形でまとめました。声楽家の歌声だけでなく、金属パイプの瓦解音を音楽の一部として取り込み、絵画作品が破損するかもしれない緊迫感の中で瓦解と生成を同時に表現することを試みました。

日 時：2016年2月6日(土)、2月21日(日)、3月6日(日)、3月12日(土)、3月21日(月)、3月26日(土)、4月2日(土)、4月9日(土)

各日 13:00と14:00(2月21日のみ13:00、13:40)

場 所：企画展示室

■折原智江 イベント「ミス煎餅」

ガラスケースの中に入って、煎餅で作った巨大なお墓の香りを嗅ぐことができるイベント。

日 時：2016年2月6日(土)、2月13日(土)、2月21日(日)、2月27日(土)、3月5日(土)、3月6日(日)、3月12日(土)、3月13日(日)、3月19日(土)、3月20日(日)、3月26日(土)、3月27日(日)、4月2日(土)、4月3日(日)、4月9日(土)、4月10日(日)

各日 13:00～17:00

場 所：企画展示室

■辻元百合子 パフォーマンス「夢遊ニマカセテ、意識ユレル」

自作のコマドリアニメーションを投影しました。

日 時 : 2月20日(土)、3月12日(土) 14:30~

場 所 : 企画展示室

■TEAM WARERA パフォーマンス「虹乞いの踊」

TEAM WARERA の出品作品によせて「雨乞いの踊」ならぬ「虹乞いの踊」を行いました。

日 時 : 4月3日(日) 15:00~16:00

場 所 : 企画展示室、母の塔前広場

【出品リスト】

No.	作家/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)	備考
1	三宅感 《青空があるでしょう》	紙粘土、発泡スチロール、パテ、 アクリル絵の具	500×500×500	
2	折原智江 《ミス煎餅》	醤油、米、その他	300×380×380	
3	笹岡由梨子 《Atem》	映像、絵画、ライト看板、水、 エアポンプ、布、他	528×497×528	
4	井田大介 《Viewpoint of God》	ミクストメディア	500×500×500	
5	岩村遠、鹿毛倫太郎、古賀睦 《トモダチ・ツボラ・ヴェラチ ャン〜地球最大の戦い》	陶、鉄、FRP、木材、紙	400×500×500	
6	偕の会 林偕人 《デモクリトス 断片 B117》	岩彩絵画、角材、鉄パイプ、 声楽家のパフォーマンス	232.8×470×270	
7	川久保ジョイ 《二百万年の孤独》	ミクスト・メディア	500×500×500	
8	國本翼 《裏社会》	紙	300×500×500	
9	関川耕嗣 《ムシトリ》	木製パネル、画用紙、アクリル絵 画、色鉛筆	12×500×500	
10	TEAM WARERA 《FAT WOMAN〜虹色の雨が降る 〜》	立体(FRP)、映像×4、鏡、 椅 子×8	240×240×400	
11	辻元百合子 《夢遊ニマカセテ、意識ユレル》	フィルム、油絵具、キャンバス、 インク、紙	500×500×500	
12	坪井康宏 《児島荘2号室》	キャンバス、油彩、木材、等	279×277.8×277.8	
13	二藤健人 《反転の山/国の器》	石膏	130×500×500	

No.	作家/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)	備考
14	花沢忍 《Cold sea and cheek, the warm tears to the sound that does not disappear》	ミクストメディア、キャンバス	220×500×500	
15	原田武 《景》	銅、鉄、銀、錫、真鍮、赤銅、色箔	60×280×280	
16	本郷芳哉 《For the Existence—屯—》	アルミニウム	362×450×430	
17	松下敦子 《地球が生まれた日》	布地	140×500×3	
18	三角瞳 《Vacant》	紙	500×500×500	
19	村上佳苗 《 <small>かしこ</small> <small>かしこ</small> <small>もう</small> 恐み 恐みも白す》	キャンバス、油彩	162×503×5	
20	村上慧 《ここに住むための方法》	生活に使っている家、家(1軒目)、映像、紙、アクリル、写真	500×500×500	
21	森本孝 《ハルキゲニア、生活の悩み五億年前の海で、ハルキゲニアも悩んでいる。「左列の真ん中の足が、何かおかしい。」》	ダンボール、木材、プラスチック等	350×600×500	
22	横山奈美 《逃れられない運命を受け入れること》	麻布に油彩	259×194×5	
23	六無 《万岳図》	紙本墨画、アクリル	72.5×436×3	